



第2号  
令和4年度  
4月23日発行

# 志高く

自ら考え学び続ける生徒  
心豊かで思いやりのある生徒  
体を鍛えやり抜く生徒



## おめでとう 深谷中学校！4月23日は開校記念日

### —「令和4年4月」「44回目」4つの4が出逢う“幸せ”の開校記念日—

石川 浩

今日令和4年4月23日は、深谷中学校44回目の開校記念日です。4つの4が出逢う“幸せ”の開校記念日です。1979年(昭和54年)に旧深谷中学校と旧大寄中学校が統合され、現在の深谷中学校が開校しました。それから44年。「昭和」から「平成」、そして「令和」と、3つの時代にわたり深谷中学校の歴史と伝統が積み上げられてきました。しかもその歴史と伝統は、旧深谷中学校と旧大寄中学校からも引き継がれているものです。



昨日は、深谷中学校の卒業生であるドールコーヒー会長の鳥羽博道 様に来校いただきました。鳥羽会長には、昨年、体育館ステージの緞帳、校舎内・体育館・校庭の放送設備、体育館ステージのスクリーンやプロジェクター、体育館用赤外線暖房機、大きな掲示物を印刷できる大型プリンター、南門に設置した掲示板、西門の門扉、顕微鏡、そして全教室のカーテンと暗幕など、鳥羽様には昨年、今の深谷中学校に必要なたくさんの品々を寄贈していただきました。大変お忙しい中でしたが、感謝を伝える会を開き、現在の深谷中学校と深中生を見ていただき、お話うかがえました。

鳥羽会長は、ご自身の小中学生の頃のエピソードや会社経営についてふれながら、人との関係をよくし自らを高めるために大切なことを教えてくださいました。「自信を持てるものを身に付ける努力をすること」「誠実であること」「正義感をもつこと」「積極的に挑戦すること」の4つです。また鳥羽会長は、多くの企業の設立・育成の一方で福祉や教育などの社会事業にも尽力した栄一翁の精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者に贈られる渋沢栄一賞を昨年受賞されましたが、栄一翁が大切にされた『論語』を自らの生き方の指針とされているそうです。その中でも「仁(思いやり)」を強く意識しているというお話も印象に残りました。深谷中学校でも学校教育目標に掲げています。栄一翁も鳥羽会長も大切にされてきた「思いやり」を、深中生も一人一人が意識し育んでいきましょう。



【旧大寄中学校の校章と校舎】 【旧深谷中学校の校章と校舎】 【今の深谷中学校の校章と校舎】

鳥羽会長に限らず、卒業生や地域の方々が、深谷中学校や深中生のことを気に懸け、いろいろな形でご支援いただいていることに、開校記念日に当たり改めて感謝申し上げます。

今の深谷中学校は、44年前の1979(昭和54)年に旧大寄中学校と旧深谷中学校が統合され現在の地で開校しました。どちらの学校も第二次大戦後に整備された教育制度のもと1947(昭和22)年に開校され、地域の中学校教育を牽引する伝統校でした。卒業生は、旧大寄中と旧深谷中で17,270名、そして今の深谷中の10,887名と合わせて28,157名の卒業生を輩出しています。今年、創立からの30年間に10年ごとに振り返ってみることにしました。

### 創立から10年間の深谷中学校[1979年～1988年]



何と言っても校庭の桜が細く高さも低かったことに驚きます。男子の制服は黒の詰め襟で制帽もありました。そして全員坊主頭でした。学校のすぐ南を流れる福川は、台風などでよく川の水が溢れ深中に流れ込んできたそうです。体育祭では全校男子が組み体操を披露していました。ジャージも、今とはずいぶん違っていましたね。

### 創立から10年目からの10年間の深谷中学校[1989年～1998年]



制服が現在のものになりました。また体操服・ジャージもほとんど現在のものになっています。修学旅行も、それまでの松島や平泉中尊寺を巡る東北から、金沢兼六園や永平寺を経て飛騨高山を巡る北陸へと変わりました。深谷中学校が大きな変化を遂げた10年間でした。4枚目の写真は、17号バイパスのアンダーパスの壁画を描いているところです。今でも見ることができます。

### 創立から20年目からの10年間の深谷中学校[1999年～2008年]



今はなくなってしまった行事や部活動を振り返ってみます。深谷市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州のワシントン市と姉妹都市となっていて、中学生をワシントン市に派遣したり、ワシントン市から中学生を迎えたりする取組をしていました。最初の2枚は、ワシントン市の中学生を深中に迎えた時の写真です。真ん中の写真は校内長距離走大会です。今も小学校では行われていますが、深中にもあったのです。生徒数減少を踏まえ、部活動も徐々に減ってきました。このころまでは弓道部、科学部、男女陸上競技部、そして男女卓球部があり、活発な活動が行われていました。最後の女子卓球部の写真の真ん中にいるのは、現在学校総合支援員さんとしてお世話になっている茶間先生です。

“人が変わり時代が変わっても、学校に、そこで学ぶ生徒に、教える教師に、保護者や地域の方々に、28,157名の卒業生によって紡がれ、連綿と連なる伝統・矜持が、深谷中学校にはある。”開校記念日は、そうした幸せを確認する日なのではないかと考えています。

♪ Happy Birthday Dear 深中 ♡ Happy Birthday To You. ♪